

第1章 発音とアクセント

4級で最初に学ぶべきことは、発音の問題である。本章では、発音とアクセントの基本について解説する。

本章の目次

- 1 アクセント
- 2 長母音・短母音
- 3 【ə】「エ」と【e】「アッ」
- 4 【f】「フ」と【v】「ヴ」
- 5 質疑応答の会話でどの言葉を強調するか
- 6 その他の発音

1 アクセント

語のアクセントの問題に関して、原則としてゲルマン語系由来の語は1音節にアクセントを置くが、ラテン語系由来の言葉は2音節目にアクセントを置くというルールがある。

例▶ Schüler – Student Hochschule – Universität

ただし、接頭辞（be-, er-, ge-, unter-, ver-などの前つづり）の場合（非分離動詞、形容詞、副詞）は、その元の動詞の1音節目にアクセントを置く。

例▶ verstehen 理解する – bestellen 注文する

stehen, stellen という元の動詞から派生する動詞なので、アクセントの位置が変わる。このルールを覚えていれば、語のアクセントの問題は容易にクリアできる。